

おどろき  
たましひめく

2022  
9/24<sup>土</sup>  
15:00 / 18:00  
25<sup>日</sup>  
13:00 / 16:00  
一擧庵  
杉並区松庵2-8-22

原作●太宰治 / 原案●芥川和洋

駆込み訴へ  
喜多京香

原作●梶井基次郎

Kの昇天  
高島領也

原作●ヴィトルド・ゴンブロービッチ

クライコフスキ弁護士の舞踏手  
大久保美智子

主催・企画制作

西荻窪芸術センター



何かが身体の中に溜まって、思わず動き出すことがあります。  
それは「ダンス」になる前の衝動の塊のように思われます。

私は、演劇で長らく「言葉」と対峙してきましたが  
言葉は身体を通すとうまく機能するという実感があります。

「言葉」が身体を通過して「踊り」出す瞬間を  
見つめてみたいと思いました。

この小品をご覧になったあなたが  
思わず踊り出したくなったら、嬉しいなと思っています。

#### 【作家紹介】

##### 太宰治

1909年青森生れ。小説家。本名は津島修治。左翼活動での挫折後、自殺未遂や薬物中毒を繰り返しながらも、第二次世界大戦前から戦後にかけて作品を次々に発表。主な作品に『走れメロス』『津軽』『お伽草紙』『人間失格』『斜陽』。

##### 梶井基次郎

1901年大阪生れ。小説家。感覚的なものと知的なものが融合した簡潔な描写と詩情豊かで澄明な文体で20篇余りの小品を残し、文壇に認められてまもなく、31歳の若さで肺結核で没した。死後次第に評価が高まり、今日では近代日本文学の古典のような位置を占めている。


##### ヴィトルド・ゴンブロービッチ

1904年ポーランド生れ。小説家、劇作家。1933年処女作『成熟期の日記』を、37年には長編『フェルディナンド』を発表。1939年、旅客船「フロプリ号」にて外遊するも、プエノスアイレス到着の7日後に祖国ポーランドにナチ軍が侵攻し、以後アルゼンチンで亡命生活をおくる。1960年『ポルノグラフィア』、1960年『コスモス』発表。1963年、ドイツに移住。1969年、フランスで死去。

#### 【日時】

2022/9/24 (土) 15:00/18:00  
25 (日) 13:00/16:00

#### 【チケット】

一般 ..... 3,500円 (税込、自由席)  
① 賛助チケット ..... 5,000円  
② 応援チケット ..... 3,000円  
チケットのご予約 ..... カルテットオンライン →   
お問い合わせ ..... [n.o.artcenter@gmail.com](mailto:n.o.artcenter@gmail.com)

##### ① 賛助チケット

西荻窪芸術センターの活動を支えてやろう、と思ったださる神様のような方のためのチケットです。賛助金 (1,500円) が上乘せされています。ご希望の方には特典として記録映像 (未編集、URL) を進呈します。ご希望の有無をご予約時にお知らせください。

##### ② 応援チケット

当日来場できないが応援したい、と思ったださる仏様のような方のためのチケットです。観劇チケットとは別のものになります。ご希望の方には特典として記録映像 (未編集、URL) を進呈します。ご希望の有無をご予約時にお知らせください。

## 【シークレット公演】

9月18日(日) 19時頃 都内某所  
(三田駅周辺)にて「おどりめくたましひ」  
シークレット公演を行います。

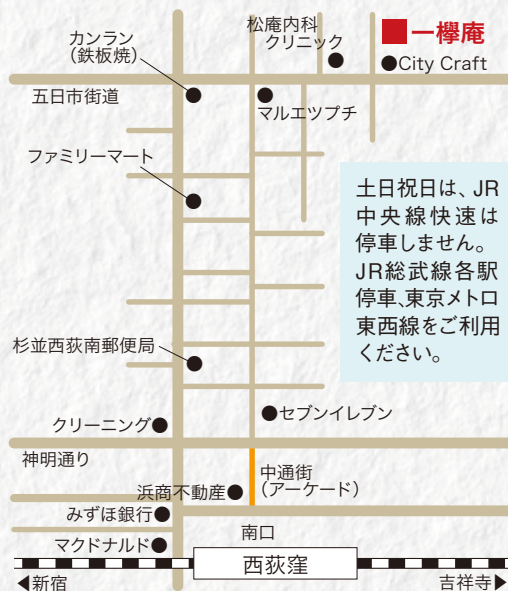
限定先着 10名様。

詳細はメールにてお問い合わせください。

[n.o.artcenter@gmail.com](mailto:n.o.artcenter@gmail.com)

#### 【会場】

一樺庵 東京都杉並区松庵2-8-22  
JR西荻窪駅 南口より、徒歩10分ほど。



#### 【出演】

喜多京香 高島領也 (劇団 山の手事情社)  
大久保美智子

#### 【スタッフ】

構成・演出 ..... 大久保美智子  
照明 ..... 菅橋友紀 (balance, Inc. Lighting)  
音響 ..... 齋見浩平  
宣伝美術 ..... 大内弘子  
主催・企画制作 ..... 西荻窪芸術センター